



Keep the Lifeline.

ライフラインを、支える。

第73期(2021年3月期)

第1四半期

決算のご報告



株式会社協和日成

目次

1.	ごあいさつ		2
2.	決算のご報告		5
3.	事業の概要		16
4.	今後の経営戦略 中期経営計画「エボリューションプラン21」		23
5.	ESG（環境・社会・ガバナンス）		30
6.	会社案内		37

ごあいさつ

Keep the Lifeline.



代表取締役社長
川野 茂



環境と技術力、情熱とエネルギー、そして人、を表した
コーポレートシンボル

株主・投資家の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期の第1四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部工事において一定期間の工事自粛が発生いたしました。主力事業である「ガス・電気・水道」事業については、安定的な国民生活を確保する上で必要不可欠との判断のもと、行政から事業継続を要請され、感染防止策を取りながら事業を継続したことで、当社全体の業績に大きな影響はありませんでした。

引き続き感染防止策を徹底し、ライフラインを支えるという社会的使命を果たすとともに、中期経営計画「エボリューションプラン21」に掲げた、ガス工事が出来る強みを生かした「真の総合設備工事会社」への早期転換を図るために、ワンストップ体制の基盤強化や、既存事業領域における業容拡大、多機能社員の育成を推進してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大し、個別業績予想の修正の必要性が発生した場合には速やかに開示いたします。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

企業スローガン/企業理念/企業ビジョン

企業スローガン

**私たちは常に進化する強い意志を持ち、
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。**

企業理念

存在意義

豊かな暮らしのために

経営姿勢

**お客様から選ばれ
続けるために**

行動規範

羽ばたき続けるために

企業ビジョン

**たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを
提供する真の総合設備工事会社を目指します。**

決算のご報告

Keep the Lifeline.

直近の業績のポイント

事業環境

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部の顧客企業において一定期間の工事自粛が発生。当社の主力事業である「ガス・電気・水道」事業は、安定的な国民生活確保のため行政より継続要請。

売上高のポイント

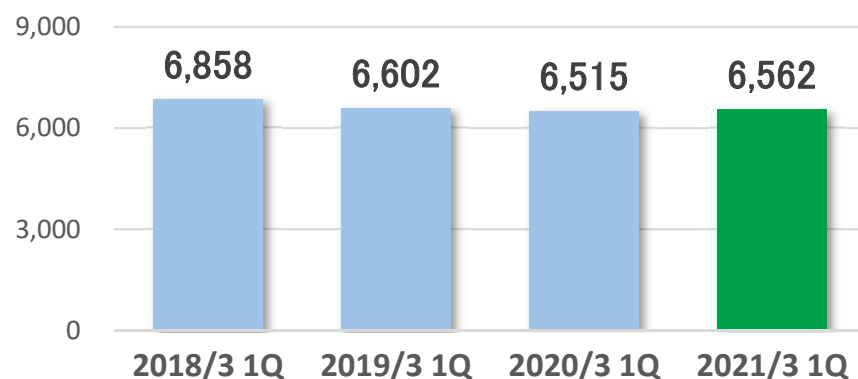
売上高は、ガス導管維持管理事業の一部を東京ガスパイプネットワーク（株）へ移管したことに伴う減少があったものの、東京ガス（株）の設備投資計画による工事に加え、GHP（ガスヒートポンプエアコン）工事や、新築建物に関連した給排水衛生設備工事が堅調に推移した結果、前年同期比0.7%増の6,562百万円。

利益のポイント

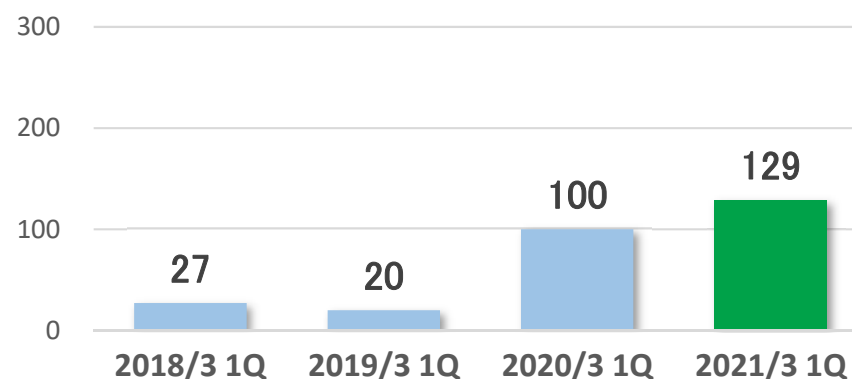
売上高の増加により、経常利益は前年同期比29.6%増の129百万円、四半期純利益は、ガス導管維持管理事業移管に伴う事業譲渡益894百万円を特別利益に計上したことにより、同1,076.0%増の719百万円。

主要な経営指標の推移 ①P/L関連

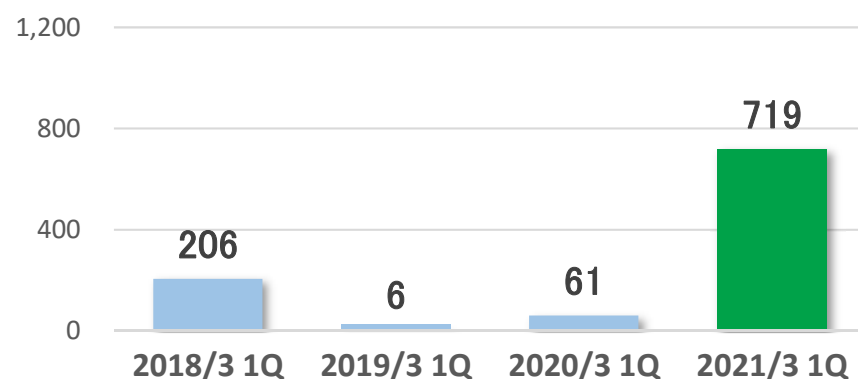
売上高 (百万円)



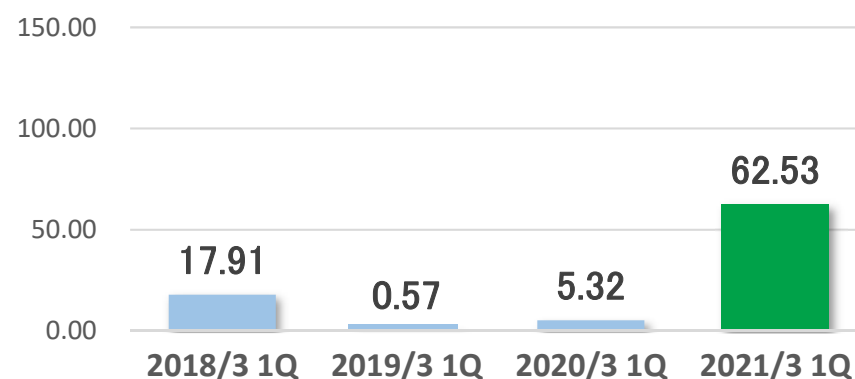
経常利益 (百万円)



四半期純利益 (百万円)

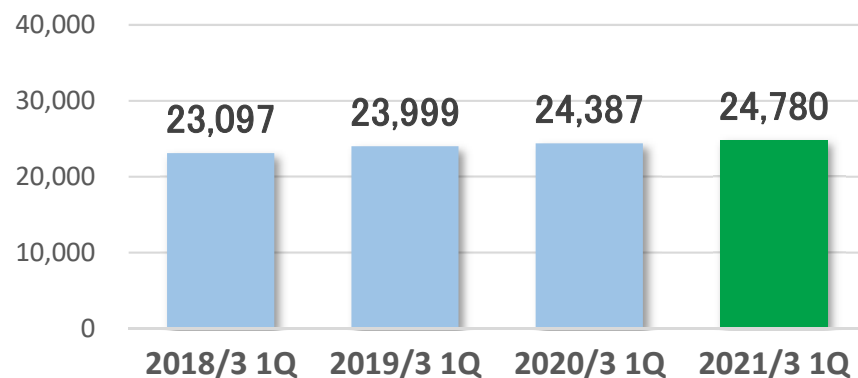


1株当たり四半期純利益 (円)

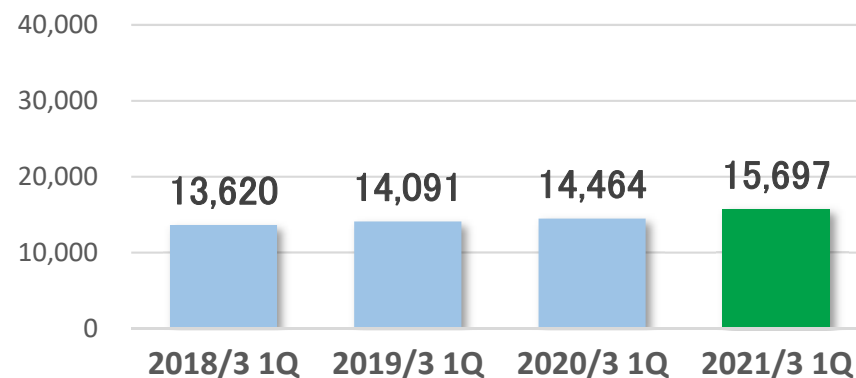


主要な経営指標の推移 ②B/S関連

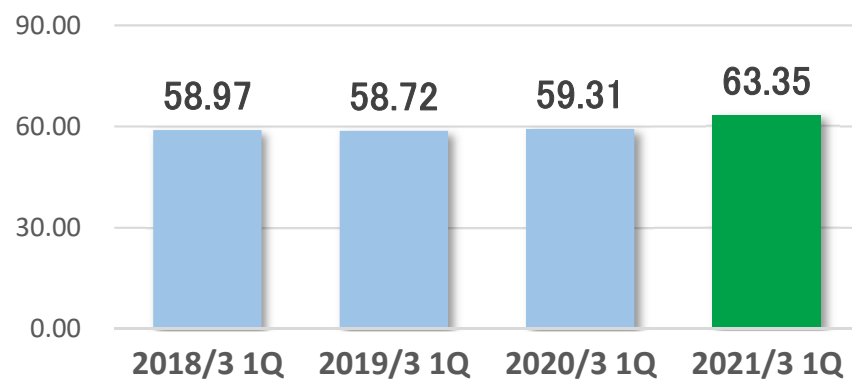
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



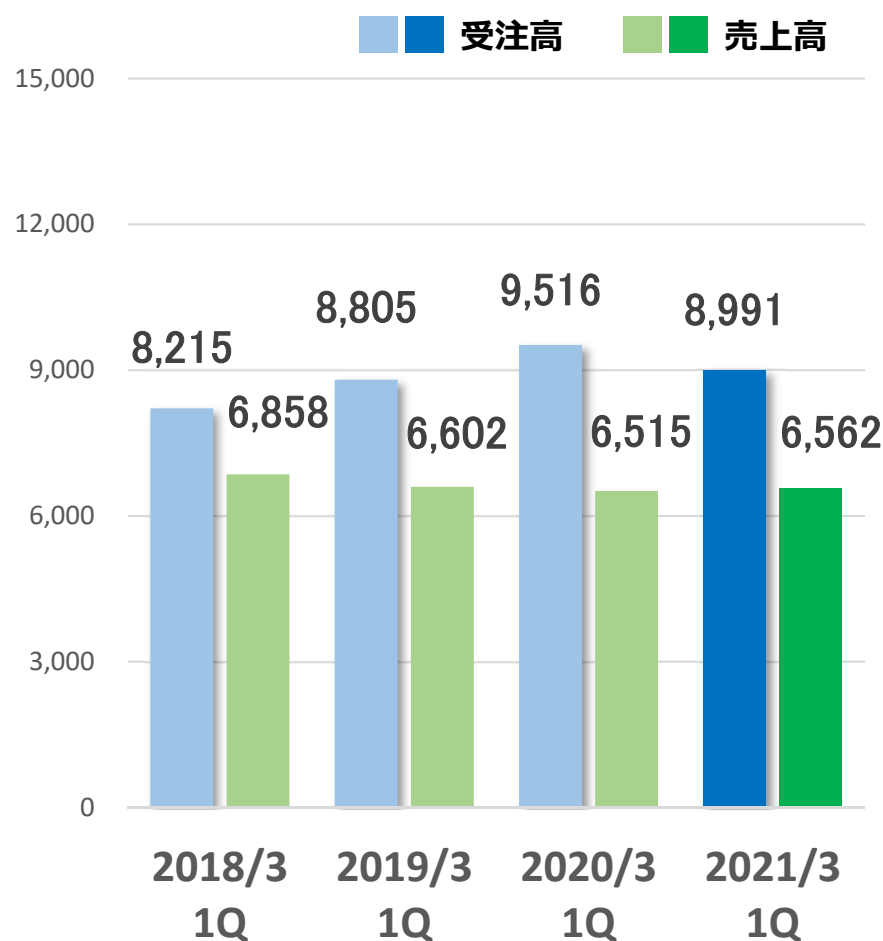
自己資本比率 (%)



受注高/売上高の推移

受注高/売上高

(百万円)

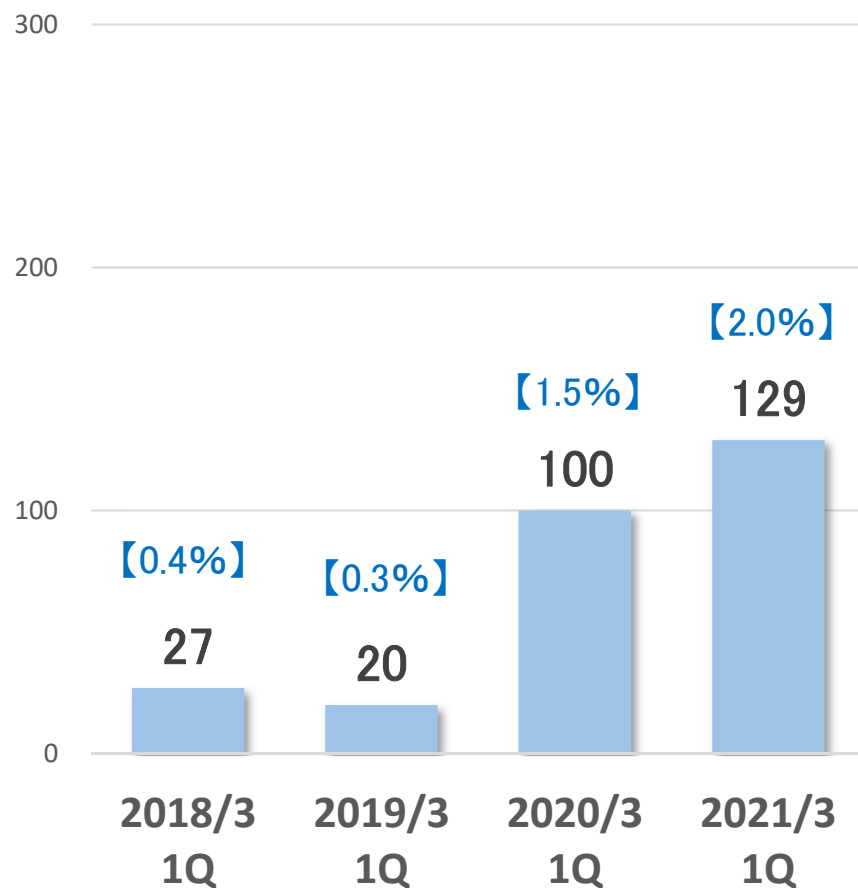


【主なポイント】

- 主要取引先である東京ガス（株）からの設備投資計画による工事や、GHP工事、給排水衛生設備工事が堅調に推移し、売上高は6,562百万円（前年同期比0.7%増）となりました。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、新築戸建住宅の着工件数が減少しているほか、リノベーション工事（排水管ライニング工事を含めた改修工事）の大規模案件が減少。ゴルフ場の来場者激減によりイリゲーション工事（緑化散水設備工事）における計画工事の凍結や見送りが発生し、受注高は8,991百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

経常利益の推移

経常利益 (百万円)



※ 【 】内は経常利益率

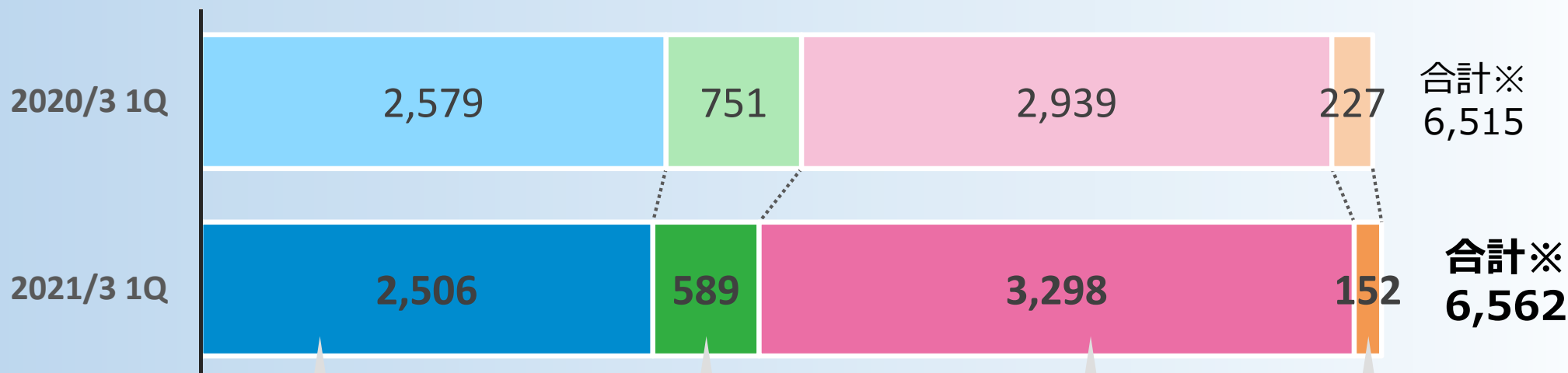
【主なポイント】

- 売上高の増加に加え、経費の抑制効果もあって、経常利益は129百万円（前年同期比29.6%増）となりました。
- 経常利益率は0.5ポイント改善し、2.0%となりました。

セグメント情報

●売上高の推移（百万円）

※合計は外部顧客に対する売上高の調整額を含む



主要因

ガス設備事業

ガス導管維持管理事業のうち設備保安関連事業の移管による減少があったものの、GHP工事が好調を維持しました。しかしながら、静岡ガス（株）の設備投資計画による工事が減少した結果、売上高は2,506百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

建築設備事業

新築建物に関連した給排水衛生設備工事が好調を維持したものの、営繕工事において顧客企業が工場稼働を一時自粛したほか、個人宅でも工事を伴うリノベーション工事も自粛を余儀なくされた結果、売上高は589百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

ガス導管事業

ガス導管維持管理事業のうち導管保安関連事業の移管による減少があったものの、東京ガス（株）および北海道ガス（株）の設備投資計画による工事が堅調に推移した結果、売上高は3,298百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

電設・土木事業

水道局関連工事は好調に推移したものの、イリゲーション工事において計画工事の凍結や見送りが発生し、東京電力パワーグリッド（株）の設備投資計画に伴う管路埋設工事において、天候不順による工事延期もあり、売上高は152百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

※ 当第1四半期会計期間より、報告セグメント区分の変更をしております。前年同期比較については、変更後の区分にて組替えた数値で比較しております。

損益計算書（要約）

（百万円）	2020/3 1Q	2021/3 1Q	増減額
売上高	6,515	6,562	+47
売上原価	5,854	5,842	-12
売上総利益	661	719	+58
販売費および一般管理費	602	633	+31
営業利益	58	86	+28
営業外収益	48	50	+2
営業外費用	6	7	+1
経常利益	100	129	+29
特別利益	—	894	+894
特別損失	28	1	-27
税引前四半期純利益	71	1,022	+951
法人税等合計	10	302	+292
四半期純利益	61	719	+658

【主なポイント】

- 原価率は、89.0%と前年同期比0.8ポイント改善しました。
- 販管費は、新型コロナウイルス対策費用や、コンサルティング費用が増加し、633百万円（前年同期比5.1%増）となりました。
- この結果、営業利益は86百万円（同47.8%増）、経常利益は129百万円（同29.6%増）となりました。
- 特別利益にガス導管維持管理事業移管に伴う事業譲渡益894百万円を計上したことにより、四半期純利益は719百万円（同1,076.0%増）となりました。

貸借対照表（要約）

(百万円)	2020/3	2021/3 1Q	増減額
資産の部			
流動資産	15,634	16,282	+648
固定資産	8,696	8,498	-198
有形固定資産	5,489	5,470	-19
無形固定資産	27	27	±0
投資その他の資産	3,179	3,000	-179
資産合計	24,330	24,780	+450
負債の部			
流動負債	8,119	8,185	66
固定負債	1,048	896	-152
負債合計	9,167	9,082	-85
資産の部			
株主資本	14,940	15,383	+443
評価・換算差額等	223	314	+91
純資産合計	15,163	15,697	+534
負債純資産合計	24,330	24,780	+450

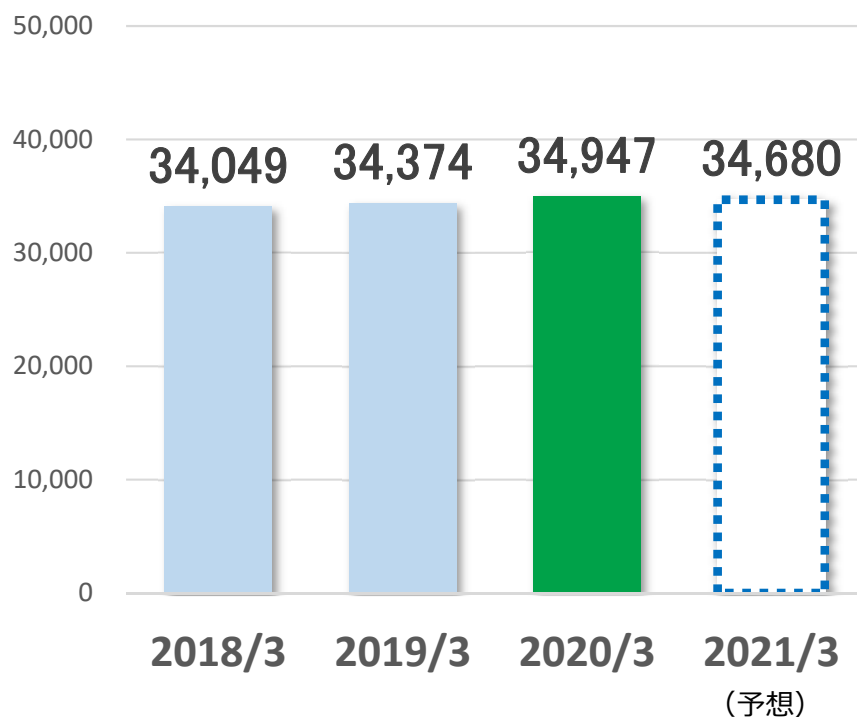
【主なポイント】

- 流動資産では、現金及び預金が1,072百万円、有価証券が303百万円、未成工事支出金が1,203百万円増加、完成工事未収入金が1,905百万円減少しました。
- 投資その他の資産では、債券の一部が償還日まで一年以内となり、有価証券へ振り替えたことにより、投資有価証券が173百万円減少しました。
- 流動負債では、工事未払金が990百万円減少、未成工事受入金が780百万円増加し、賞与引当金を232百万円計上しました。
- 固定負債では、借入金を60百万円返済。退職給付引当金が事業移管に伴い115百万円減少しました。
- 純資産では、四半期純利益を719百万円計上。その他有価証券評価差額金が91百万円増加しました。

業績予想/配当予想

※2021年3月期業績予想には、新型コロナウイルス感染症や東京オリンピック・パラリンピック延期による影響を折り込んでおりません。

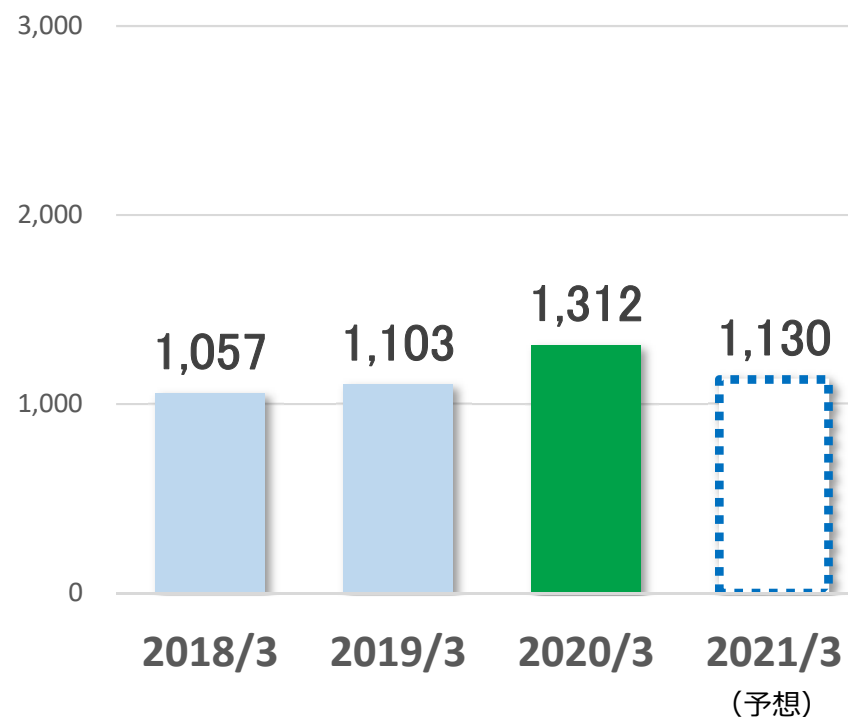
売上高 (百万円)



【主なポイント】

- ガス導管維持管理事業の東京ガスグループへの移管による減収があるものの、建築設備事業の増収でカバーし、全体では前期比0.8%減収を予想。

経常利益 (百万円)



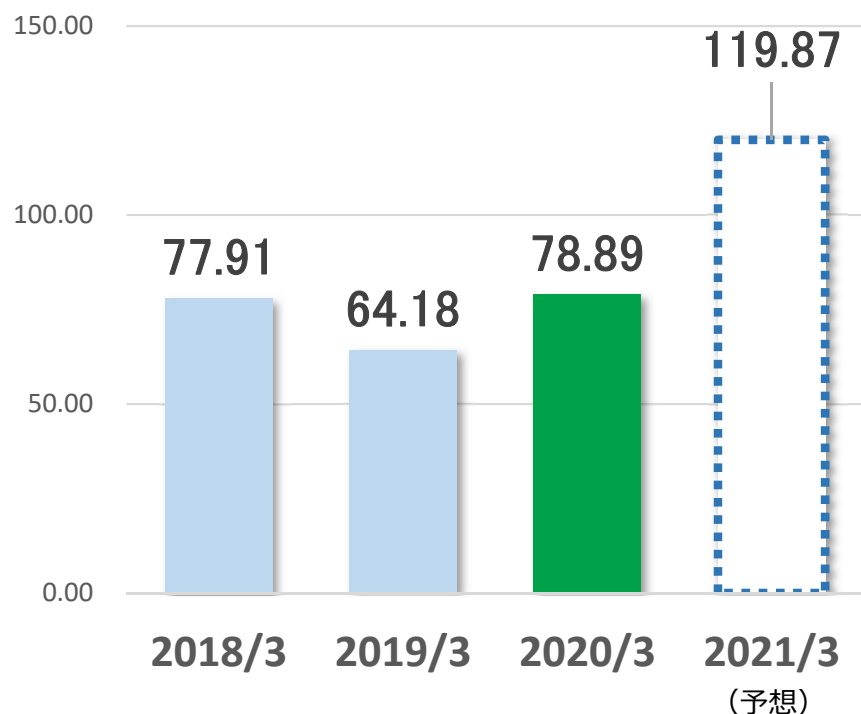
【主なポイント】

- 売上高の減収に伴い経常利益は13.9%減益の1,130百万円を予想。

業績予想/配当予想

※2021年3月期業績予想には、新型コロナウイルス感染症や東京オリンピック・パラリンピック延期による影響を折り込んでおりません。

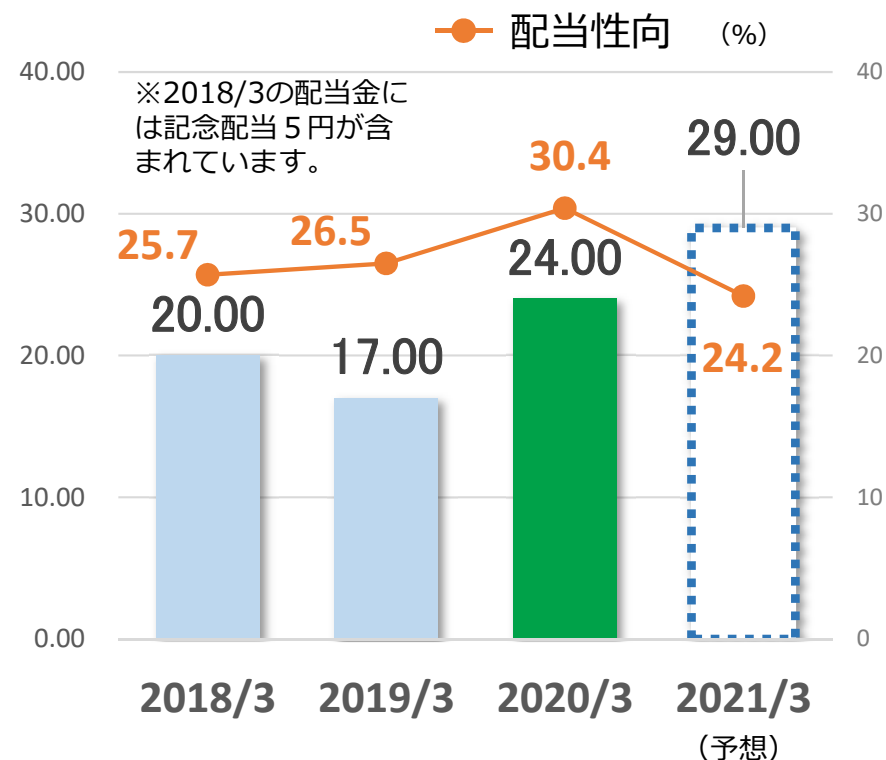
1株当たり当期純利益 (円)



【主なポイント】

- ガス導管維持管理事業の東京ガスグループへの移管に伴う対価として894百万円を特別利益に計上することにより、1株当たり当期純利益は51.9%増加を予想。

1株当たり配当金 (円)



【主なポイント】

- 1株当たり配当金は5円増配の29円を予想。当期純利益の増益分に、左記の通り特別利益が含まれるため、配当性向は24.2%を予想。

事業の概要

Keep the Lifeline.

事業概要～協和日成はこんなところで活躍



社会の様々な
ライフラインを
支えます

ガス設備

建築設備

ガス導管

電設・土木

事業内容 ①ガス設備事業について

ガス設備事業

主な活躍場所

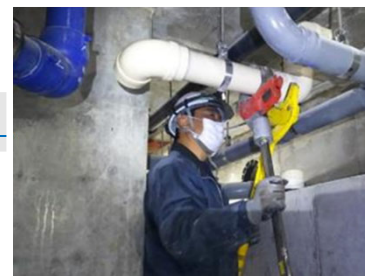
戸建住宅

集合住宅

学校・
福祉施設

商業施設

台所に灯る炎。湯船の温かさ。温もりのある暮らしは、ガスがあってこそ実現されるもの。私たちはガスの配管設備はもちろん、発電システムの設計・施工をワンストップで提供。ガスのある豊かな暮らしを描きます。



建物内ガス配管工事



ガスメーター

主な事業内容

ガス設備工事

戸建住宅から超高層住宅、公共施設やテナントビル等の新・増改築に伴うガス配管設備の設計・施工。経年に伴うガス配管設備の改善提案、他燃料（プロパン・電気・灯油）等からの天然ガスへの切替提案に伴うガス配管設備の設計・施工。

暖房給湯・空調設備工事

【暖房給湯設備工事】

戸建住宅から超高層住宅TES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事

【空調設備工事】

GHPをはじめとした空調設備工事

太陽電池・燃料電池・蓄電池システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電（太陽光・燃料電池）、蓄電池等のシステム設計。

環境に優しく、災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工・メンテナンスまで。

事業内容 ②建築設備事業について

建築設備事業

主な活躍場所

集合住宅

工場

学校・
福祉施設

商業施設

人が生き生きと過ごせる環境へ。私たちはガスだけでなく、快適な空間も提供しています。マンション、ビルなどの空気調和・衛生設備工事を行い、より快適な空間に変える。それも私たちの使命です。



受水槽・給水ポンプ



換気設備

主な事業内容

設備工事

- 給水・給湯、排水、通気設備工事
- し尿浄化槽設備工事
- 衛生器具設備工事
- 工場プラント工事
- 空気調和設備工事
- 換気設備工事
- 屋外給水・排水設備工事
- 消火設備工事
- 厨房設備工事

メンテナンス

【DREAM工法】

調査・診断により、残存寿命がある管の内部をセラミックサンドで研磨し、ビニルエステル樹脂でライニング施工することで、排水管を更生します。

【NPL-Ⅲ工法】

長期間の使用により、サビや不純物が付着したビルやマンションの給水管を更生します。

事業内容 ③ガス導管事業について

ガス導管事業

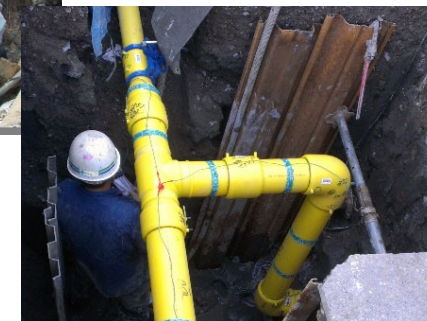
主な活躍場所

地中

都市の地中に張り巡らされている、ガス導管。街中にガスが届けられるこの導管を安全に保つため、調査や改修工事、ガス漏れ時の緊急出動までトータルでサポートしています。高いスキルと環境に優しい技術で、24時間365日、人々の生活を守ります。



大口径導管
(本管) 工事



導管 (本管)
分岐部工事

主な事業内容

ガス導管工事

【ガス導管敷設工事】

道路に張り巡らされるガス導管（本管・支管）の新規埋設工事や経年管の入れ替え、移設工事

【道路舗装工事】

ガス導管埋設工事に関わる道路舗装工事

メンテナンス

【ガス導管修理工事】

ガスの本管・支管に関わる修理工事

【ガス漏れ緊急出動】

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに関わる緊急調査・修理

事業内容 ④電設・土木事業について

電設・土木事業

主な活躍場所

地中

ゴルフ場

都市を、より住みやすい場所にするために。安全な水を届ける上下水道工事、走りやすい道に整える道路舗装工事など街の整備にも手を抜きません。施工時には騒音・振動に最大限配慮。豊かな生活の実現に向け、私たちは尽力し続けます。



マンホール
地中建設工事



管路地中埋設工事

主な事業内容

電設工事・ メンテナンス

東京電力パワーグリッド（株）の地中送電線（ケーブル）埋設に伴う管路埋設工事、および人孔（マンホール）の地中建設工事および、点検・補修工事。

一般土木工事

【上水道工事】
各種上水道工事

【その他】
道路舗装改修工事・駐車場整備工事

イリゲーション工事

散水設備の自動化をととして管理コスト削減に貢献します。

【グッドモール工法】
下水道管の取付管を非開削で取付ける工法で、道路の掘削量を減らすことで、排出土を減らし作業の効率化を図っています。

事業内容（セグメント構成）

ガス設備事業

15,199 百万円
(構成比率43.6%)

ガス導管事業

15,633 百万円
(構成比率44.8%)

2020年3月期
売上高

2,428 百万円
(構成比率7.0%)

1,615 百万円
(構成比率4.6%)

建築設備事業

電設・土木事業

今後の経営戦略 中期経営計画「エボリューションプラン21」

<2019年度～2021年度>

Keep the Lifeline.

建設業界、不動産業界

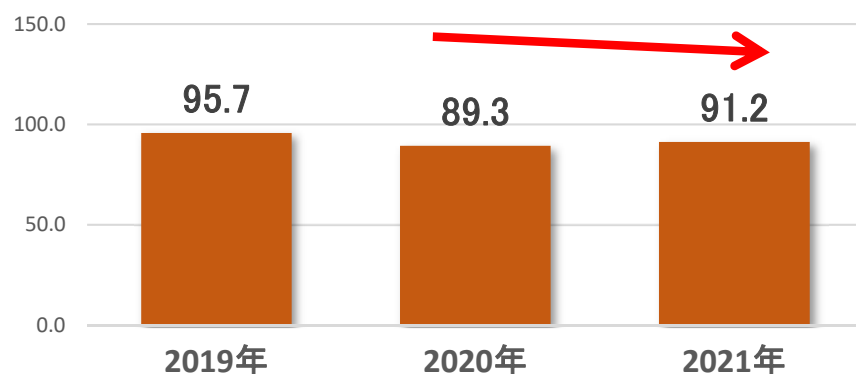
- 震災被災地の復旧・復興に向けた事業や巨大地震・風水害といった大規模自然災害に備えるための**国土強靱化基本計画が継続**
- 東京オリンピック・パラリンピックの特需や国家戦略特区による東京都心の大型再開発、東京都心部のオフィスビル開発などで**市場が拡大**
- 「フラット35」の適用範囲拡大や、2019年の消費増税後の需要減少の対策として、「住宅ローン減税」が受けられる期間を追加で3年間（計13年間）延長するなど、政府・行政による方針も打ち出されており、**受注は緩やかに増加**

エネルギー業界

- 天然ガスは安定性、経済性、環境性に優れたエネルギーとして、世界的にも、また日本においてもますますその存在を高める
- 電力・ガス小売全面自由化が実施され、エネルギー業界に大きな変革。2020年の発送電分離や2022年度に予定されているガス導管部門の法的分離に向けた準備が進められている
- 水素などの代替エネルギーや再生可能エネルギー、蓄電池などの技術の着実な進歩に伴い、各エネルギー会社の競争もさらに激しくなっていくことが予想される
- **電力・ガスともに一層の競争原理の導入により、設備投資計画に伴う工事の発注単価が引き下げられる可能性も**

新設住宅着工戸数

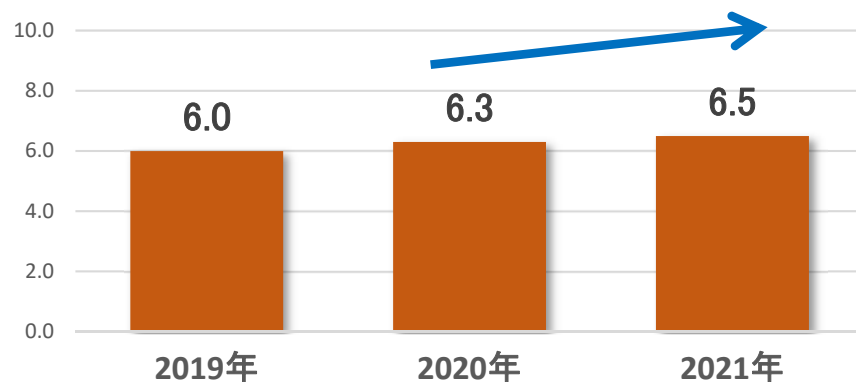
(万戸)



(日本総研予想/2018年8月)

リフォーム市場

(兆円)

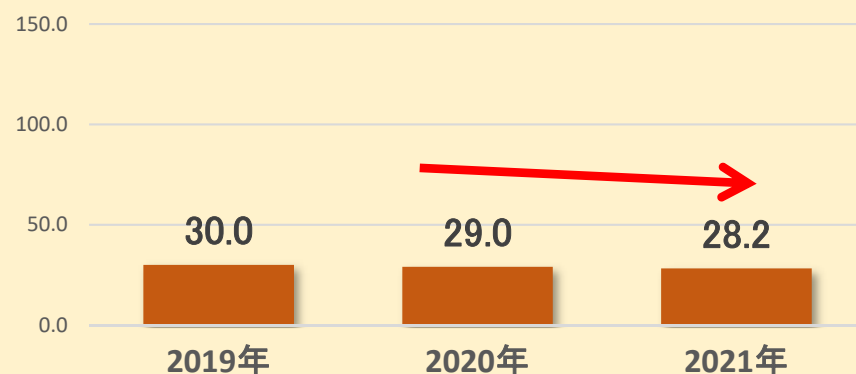


(野村総研予想/2018年6月)

うち東京ガス供給エリア

新設住宅着工戸数

(万戸)



(東京ガス需要開拓部予想/2019年1月)

【主なポイント】

- 新設住宅着工戸数は、全体も東京ガス供給エリアも減少傾向。
- 住宅リフォーム市場規模は、「設備修繕・維持関連」分野が住宅ストック数の増加に伴って拡大。

基本的な考え方 戦略の方向性

目標とする経営指標

当社は、企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視しており、**3.0%以上**の安定的な達成を目指しております。

◆戦略の方向性

大きく変化する経済環境、社会環境、市場環境を踏まえる、現状のままでは収益の減少は避けられません。

全社的な多機能化、すなわち、企業ビジョンに掲げている「真の総合設備工事会社」への転換を早期に図る必要があります。

今までの機能縦割り組織から顧客軸を中心に幅広いニーズに対応し得る多機能化を改編目的とした新事業体制のもと、相互連携を密にし、ワンストップ体制を構築することで顧客基盤の拡大を実現します。

周辺事業（IoT対応含む）やストック事業等新規事業を創成することによって、特定顧客への過度の依存体質から脱却を図ります。

中期経営計画
「エボリューション
プラン21」

<2019年度～2021年度>

中期経営計画（成長戦略）の概要と進捗

目標

諸々の環境変化による収益減少を
打ち返しつつ、**真の総合設備工事会社**
としての体制・基盤を作り上げる。

真の総合設備工事会社とは・・・

ガス工事ができる強みを生かし、給排水衛生設備工事や空調設備工事だけでなく、現在は不足している電気・通信工事機能も備えた一括受注体制と施工体制を確立し、ワンストップ体制できめ細やかなサービスを提供できる会社。

総合設備一括受注体制と施工体制の確立

施策 主要顧客別営業戦略/不足機能の洗い出し

【現状の取り組み】

請負工事範囲の拡大およびターゲット市場の絞り込み

- ・集合住宅市場、新築戸建市場におけるガス工事、TES工事、給排水衛生設備工事に加え、電気・通信工事機能を備えた総合設備の一括受注体制の構築

新規事業領域への参入可能性・実現性調査

施策 周辺事業領域への参入可能性検討

【現状の取り組み】

周辺事業領域の選定と参入準備

- ・環境商材（エネイース）を含めた新商材の拡販
→**自律自創型営業力強化研修の実施**
- ・官公庁における給排水衛生設備工事のエリア開拓
→**葛飾区をターゲットに支店を設置予定（2020年7月）**

既存事業領域における受注拡大・ストック事業への参入と施工体制の整備

施策 既存事業分野の業容拡大策の検討

【現状の取り組み1】 **既存顧客からの一括受注**

- ・集合住宅におけるガス工事の顧客から設備工事も受注
- ・集合住宅における設備工事の顧客からガス工事も受注

→**19年度受注実績**

ガス工事+TES工事+給排水衛生設備工事 3件

ガス工事+給排水衛生設備工事 9件

【現状の取り組み2】 **既存事業の受注拡大**

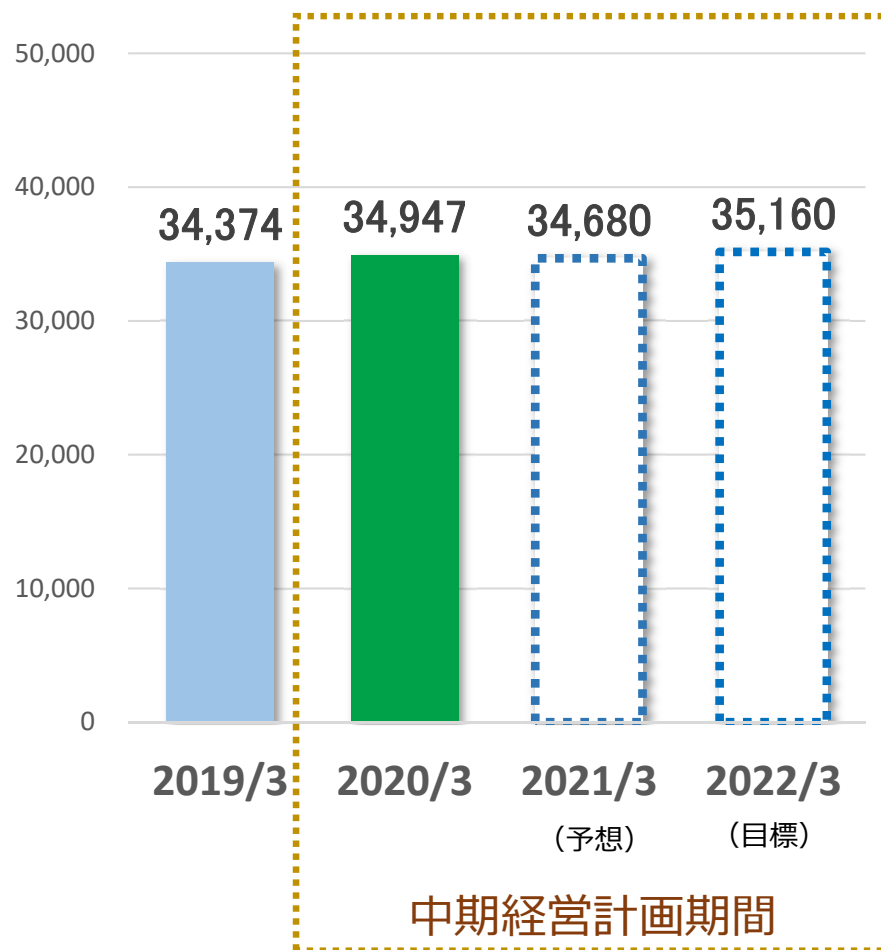
- ・学校等のGHP工事の受注拡大
→**受注拡大が見込まれる多摩地区に支店を設置**

【現状の取り組み3】 **ストック事業への新規参入**

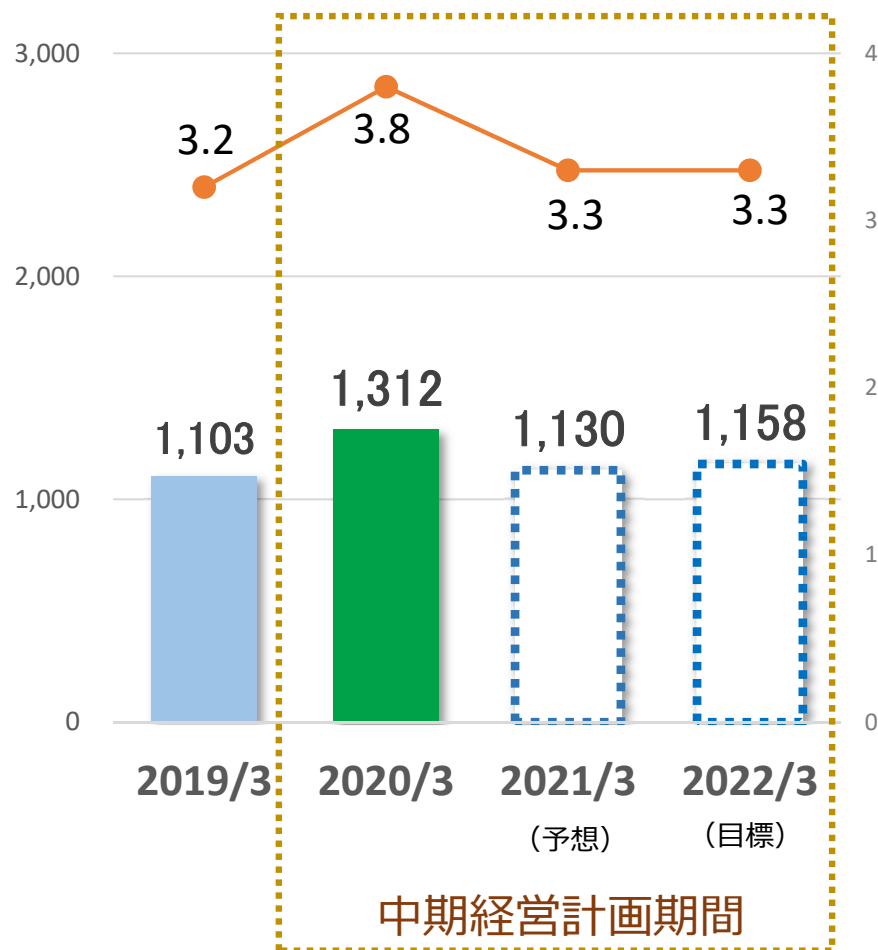
- ・GHPメンテナンス事業の開始
→**国立営業所内にGHPメンテセンターを設置し、国立市、国分寺市、小平市、東大和市、東村山市、清瀬市、東久留米市、所沢市に対しGHPメンテナンス事業を開始。**

業績目標

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円) ● 経常利益率 (%)



※ 作成当初、2021年3月期に見込んでいたガス導管維持管理事業の東京ガスグループへの移管範囲が縮小されたため、2021年3月期予想、2022年3月期目標を2020年5月に修正いたしました。なお、新型コロナウイルス感染症や東京オリンピック・パラリンピック延期による影響は折り込んでおりません。

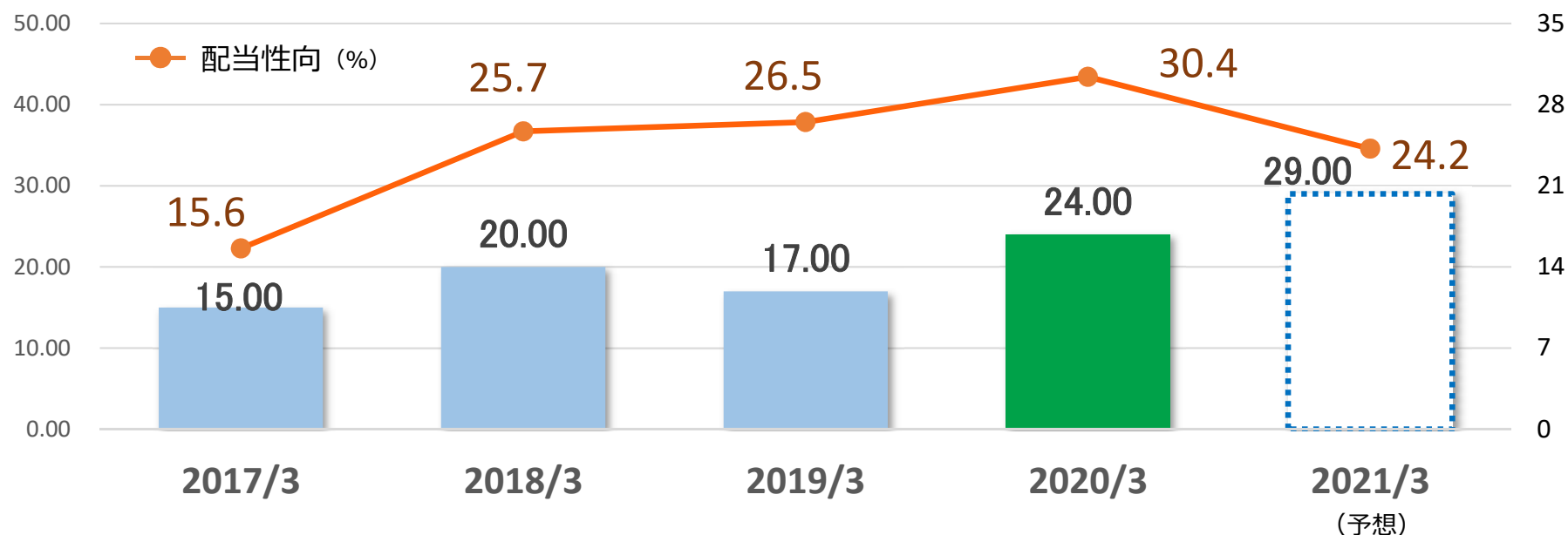
株主還元

配当方針 (2019年12月に配当方針の見直しを行いました。)

株主の皆様に対する適正な利益還元を経営の最重要政策の一つとして認識しております。配当につきましては、経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とし、業績に応じた配当を検討する上での基準につきましては、配当性向30%を目標としております。

なお、非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがあります。

【1株当たり配当金】 (円)



※ 2018/3の配当金には記念配当5円が含まれています。

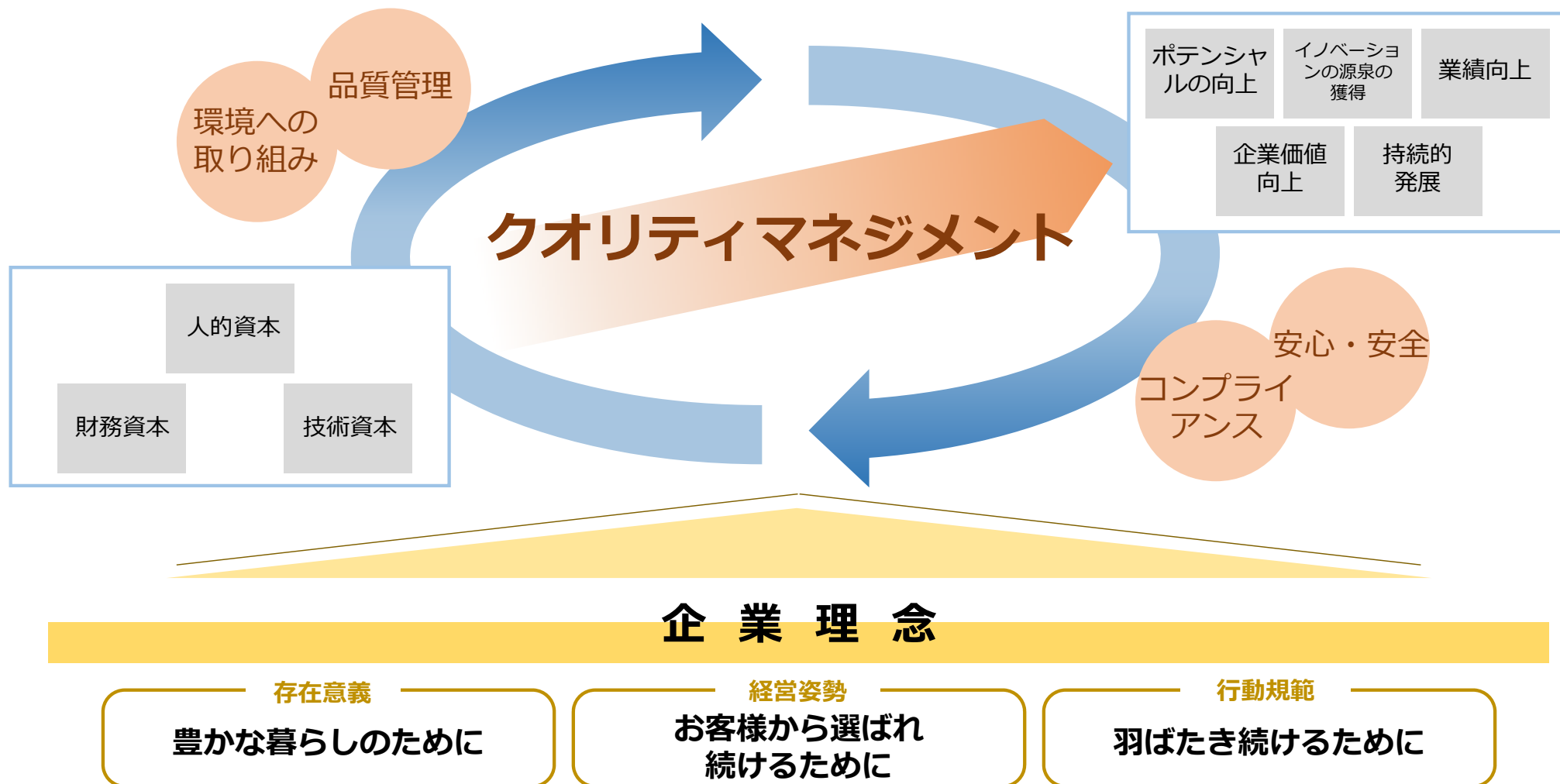
2021/3予想では、当期純利益の増益分に特別利益894百万円（ガス導管維持管理業務移管に伴う対価）が含まれるため、配当性向は24.2%を予想しています。なお、2021/3予想には新型コロナウイルス感染症による影響を折り込んでおりません。

ESG（環境・社会・ガバナンス）

Keep the Lifeline.

当社のESG(環境・社会・ガバナンス)

当社では、企業理念に立脚したクオリティマネジメントを中心に、ESG(環境・社会・ガバナンス)活動を実践し、ポテンシャルの向上、イノベーションの源泉の獲得、業績向上、企業価値向上、持続的発展を目指しています。



クオリティマネジメント

「ライフラインを支える」という使命のもと、品質、安全、環境、コンプライアンスを守ることを何よりも優先し、お客さまの信頼を築いていきたいと考えています。私たちは、お客さまのオンリーワンパートナーになるべく、挑戦をつづけていきます。

品質管理

お客さまの満足が、私たちの喜びです。

ISO9001：2015規格で培ったノウハウを進化させ、当社独自に策定した品質管理システム【QP（Quality Plus）マネジメントシステム】による全社品質管理体制を整えております。私たちは、品質マネジメントシステムの効果的な適用と継続的改善に努めることで、お客さま満足度の向上をめざします。

安心・安全

安全第一主義で安心をお届けします。

お客様からのお申し出やご要望に対しては安全第一・迅速をモットーに一人ひとりが確実にバトンをつなぎ、切れ目の無いサービスをご提供するために報告・連絡・相談を徹底し安心・安全をお届けします。

環境への取組み

人に地球に、もっと優しく。

限りある資源を利用して、持続的に人々の快適な生活をお約束するために、私たちは工事に関わる環境への影響に十分に配慮するとともに、環境に優しい商品のご提案に努めています。また、一人ひとりが身近なところから地球環境を考え環境に優しい行動に努めています。

コンプライアンス

誠実で、風通しのよい企業に。

ステークホルダーからより大きな信頼を得るために、コンプライアンスを前提とした内部統制システムの整備を推進し、コーポレート・ガバナンスのさらなる確立を目指すとともに、企業倫理を大切にしたい誠実で風通しのよい企業風土の確立を図っています。

E(環境)

当社では、日々の省エネ活動や廃棄物管理といった活動を積極的に進めつつ、エネイースなどの環境に配慮した商材やゴルフ場・サッカースタジアム・学校グラウンドの散水緑化を支えるイリゲーション工事などをととして環境に貢献しています。

環境商材・環境技術

- エネイース/All-in-One
- DREAM工法
(リノベーション工事)
- グッドモール工法
(イリゲーション工事) etc

環境保全

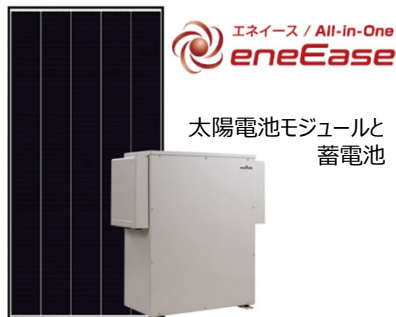
- BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)導入(本社)
- 太陽光発電設備の設置(静岡支店)
- 事業場のLED化の推進 etc

Pick Up!

エネイース/All-in-One

長瀬産業(株)が販売する家庭用コンパクトHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)セット。

当社が従来から取り扱っているエネファームなどのガス機器とともに導入することで、より省エネ・快適な環境をご提案しています。



Pick Up!

楽省! BEMS

当社の本社に導入している、東京ガス(株)の業務用中規模施設向け省エネ節電支援システム。

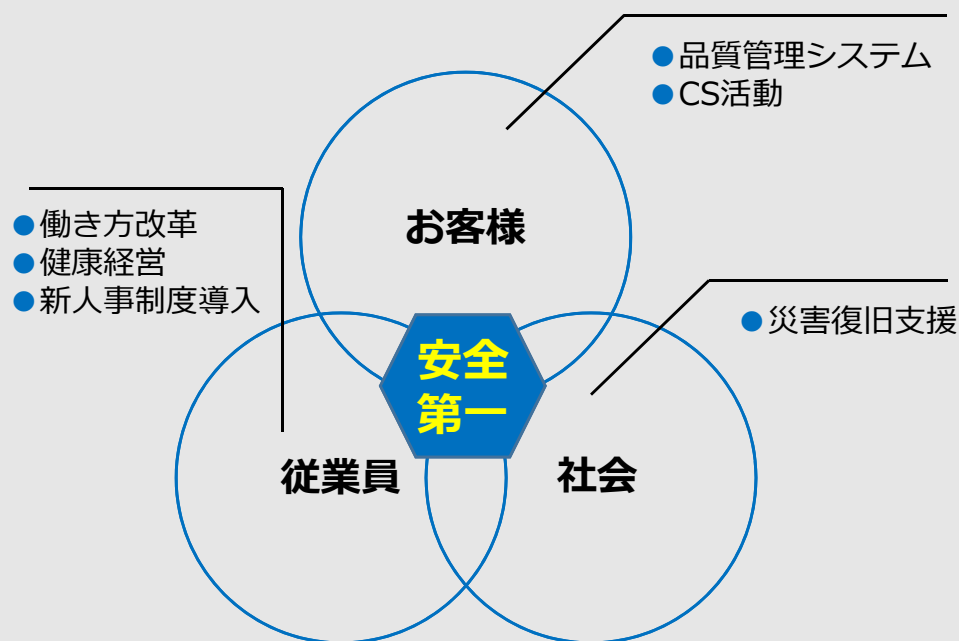
エントランスに設置している同社のTGグリーンモニターによって、節電状況を見える化しています。



HEMS,BEMS : エネルギーマネジメントシステム。エネルギーの使用状況が見える化し、分析して削減に繋げるシステム

当社では「安全第一」を最優先に安全衛生水準の向上にも努めています。
また、インフラ設備を支える工事会社として「Keep the Lifeline.」を合言葉に、人々の快適な生活を守り、日本の持続的な成長を支えるべく尽力しています。

安全教育の充実、事故事例研究、役員の現場巡視など、**安全を最優先**とする事業運営のもと、「お客様」「従業員」「社会」に向けた各取り組みを推進しています。



●お客様（品質管理システム／CS活動）

ISO規格で培ったノウハウを進化させ、独自に策定した『QP（Quality Plus）マネジメントシステム』による全社品質管理体制を整備。

お客様から寄せられた「大満足」「不満足」を分析し、品質管理の向上に反映。

●従業員（働き方改革／健康経営／新人事制度導入）

働き方改革推進委員会において、各部門の実態に合わせた長時間労働抑制策を推進。

従業員の活力向上、人材の獲得、生産性の向上を目的に「健康企業・健康経営宣言」を行い、健康づくり環境を整備。

キャリアパスの複線化、多機能化のための人事ローテーションの仕組みの整備、シニア人材の活用を目指して新人事制度を導入。

●社会（災害復旧支援）

ガス事業者等との連携により、災害発生時には復旧支援隊を派遣。
（→次スライド参照）

S(社会) 具体例～災害復旧支援

災害時派遣実績

延べ人数（当社施工監督と協力会社の派遣人数×稼働日数）

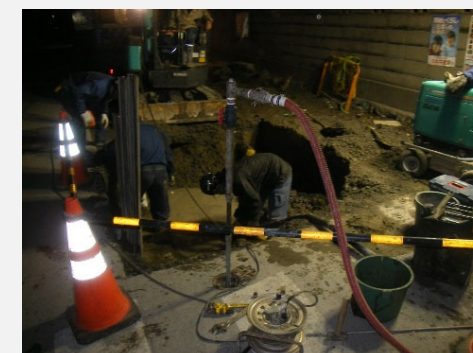
		都市ガス 導管	都市ガス 内管	プロパン	仮設住宅	水道 (給水応援)	合計
2004年	三宅島復興工事	-	-	314	-	-	314
2004年	新潟県中越地震復旧支援	2,223	(No Data)	-	-	-	2,223
2007年	新潟県中越沖地震復旧支援	3,461	1,440	-	-	-	4,901
2011年	東日本大震災復旧支援 (日立、石巻、仙台、千葉など 複数エリア)	4,486	1,337	-	108	-	5,931
2016年	熊本地震復旧支援	1,254	180	-	-	-	1,434
2018年	大阪府北部地震復旧支援	494	76	-	-	-	570
2018年	北海道胆振東部地震復旧支援	75	14	-	-	24	113



被災地の様子



導管復旧工事



夜間導管復旧工事

G(ガバナンス)

当社では、健全な経営体制のもとお客様から選ばれ続けることが社会的使命であると認識しております。そのためには、単なる法令遵守としてのコンプライアンスだけではなく、より高い企業倫理感に基づいた内部統制システムを構築することが、実効性のあるコーポレート・ガバナンスを実現することと考えております。

執行役員制度の導入

経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離することによって、取締役会による業務執行に対する監視を行うと同時に、取締役の業務執行を監視するため監査役を設置しています。

反社会的勢力の排除

「市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体に対して、毅然とした態度で臨み、必要に応じて、外部専門機関（顧問弁護士、警察等）と連携することで、これら反社会的勢力・団体との関係を一切遮断すること」を基本方針としています。

取締役関係

定款上の取締役の員数	10 名
定款上の取締役の任期	2 年
取締役会の議長	会長（社長を兼任している場合を除く）
取締役の人数	10 名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	1 名
社外取締役のうち独立役員に指定されている人数	1 名

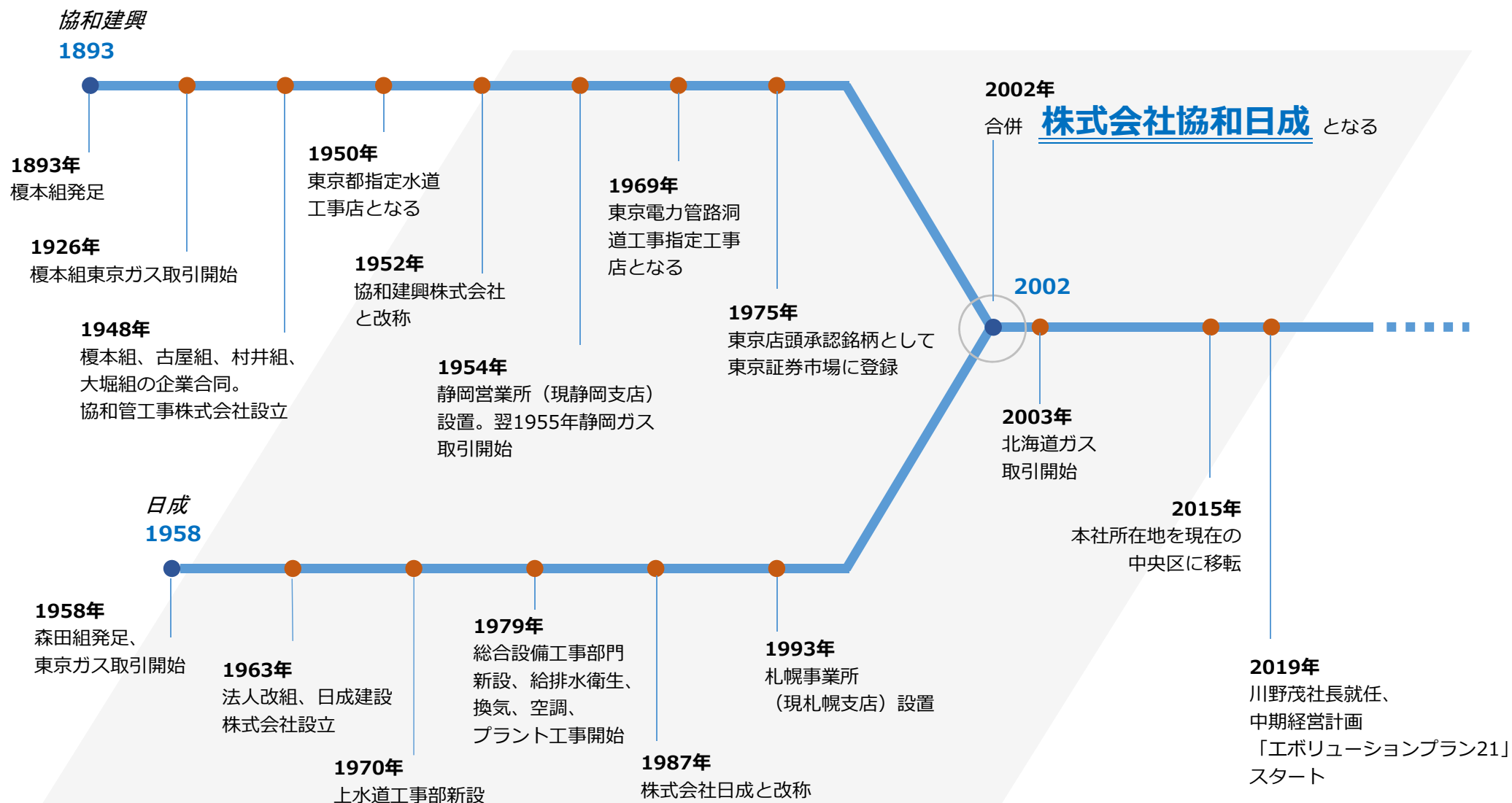
会社案内

Keep the Lifeline.

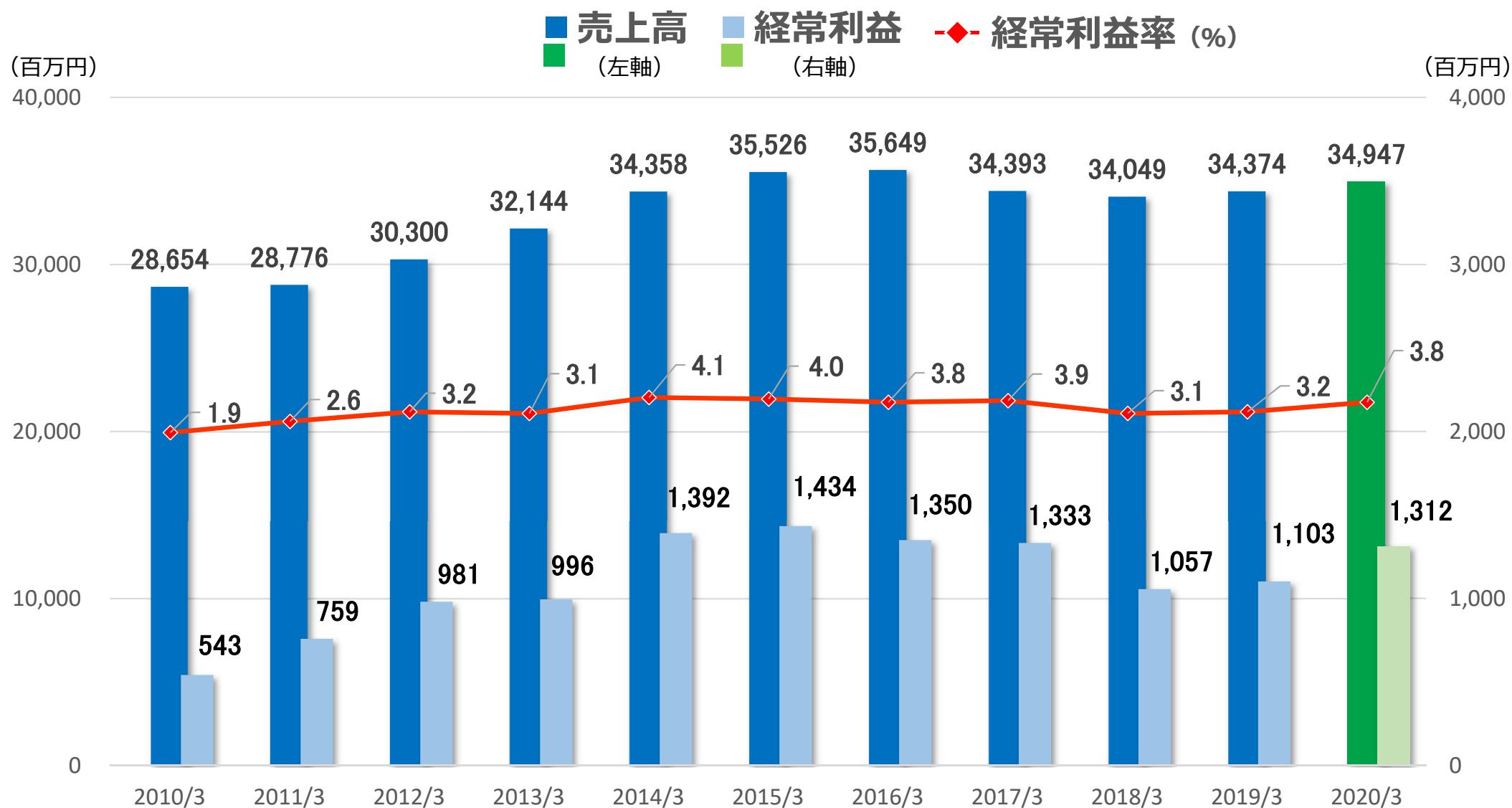
会社概要

商号	株式会社協和日成
設立	1948年（昭和23年）9月15日
所在地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5
資本金	5億9千万円
株式	東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）＜コード:1981＞
代表者	代表取締役社長 川野 茂
従業員数	833名（2020年3月31現在）
売上高	349億円（2020年3月期）
グループ会社	2社（2020年3月期）

当社のあゆみ ①沿革



当社のあゆみ ②11か年業績推移



確かな技術力



様々な
ガス会社からの
高い信頼



幅広い
顧客チャネル

安定した事業基盤

強み ①確かな技術力

建物内のガス設備工事

都市の地中に張り巡らされたガス導管工事

70年以上の歴史の中で培われた技術力

あらゆる視点から人々の生活を支える多機能的な事業を展開

空調設備
工事

給排水
衛生設備
工事

電路洞道
工事

水道工事

これからもさらに機能を拡充し、
真の総合設備会社を目指して研鑽を続けます

強み ②様々なガス会社からの高い信頼

北海道ガス

需要家件数：約577千件 (2018年度)

静岡ガス

需要家件数：約320千件 (2019年度)

東京ガス

需要家件数：約1,186万件 (2019年度2Q)

京葉ガス

需要家件数：約1,004千件 (2019年度)

厚木ガス

需要家件数：約55千件 (2019年度)

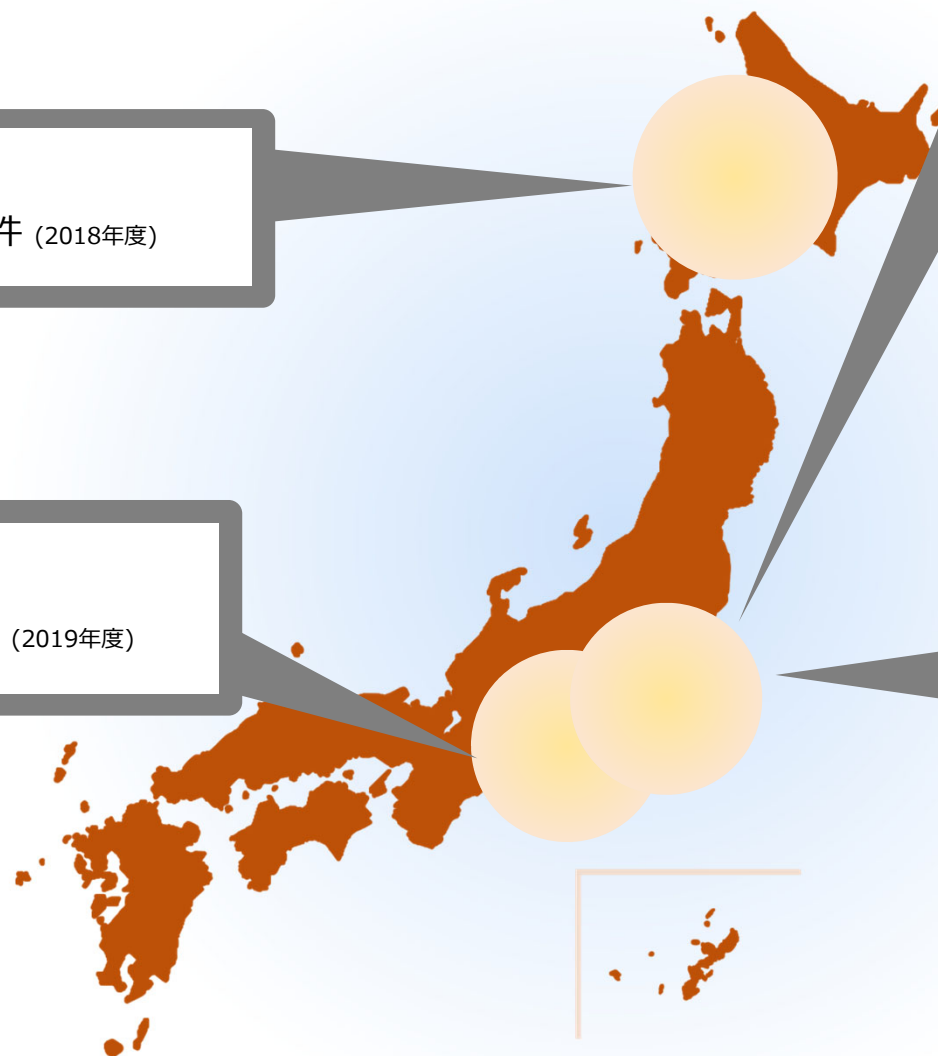
小田原ガス

需要家件数：約36千件 (2018年度)

昭島ガス

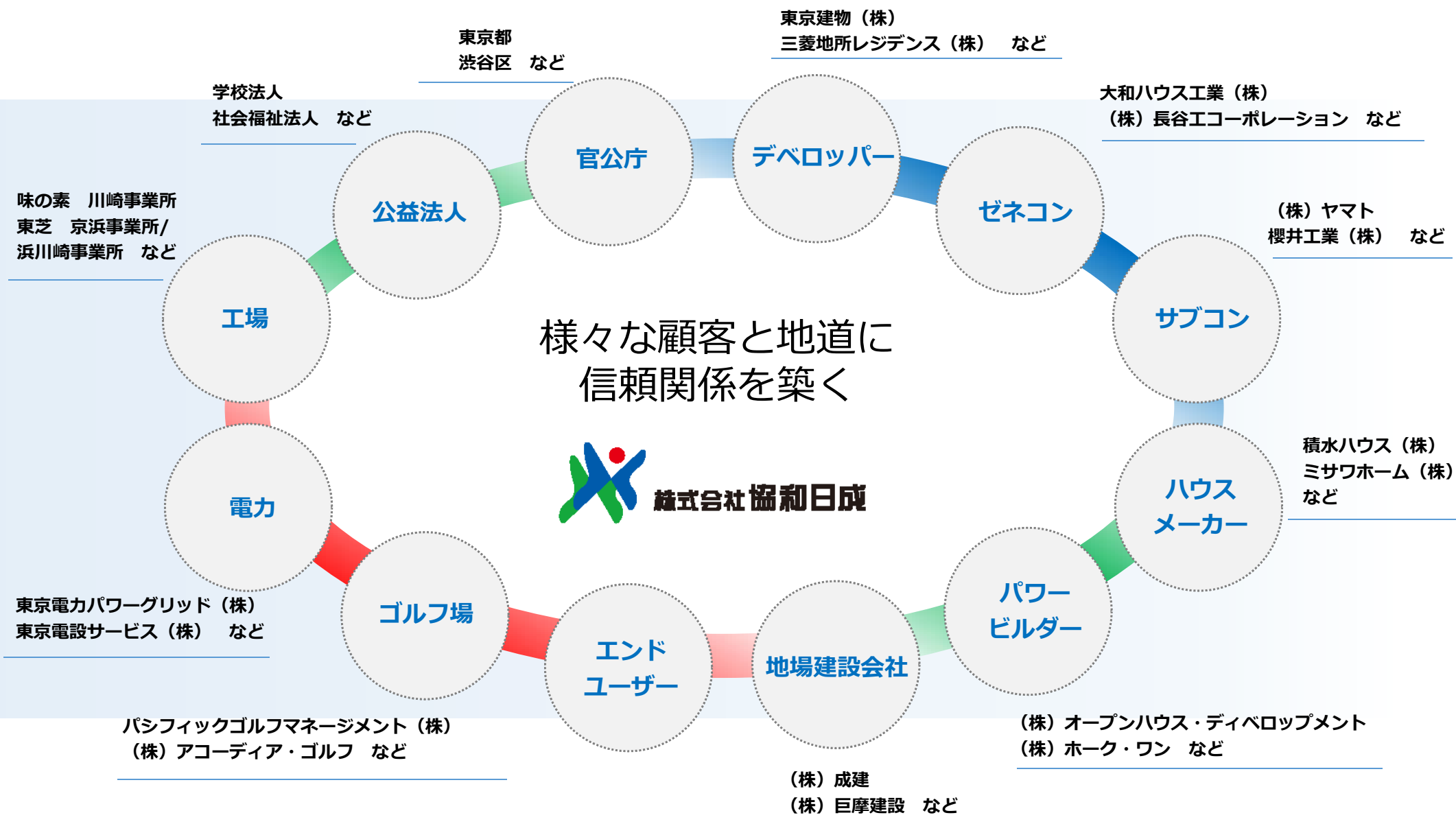
需要家件数：約33千件 (2019年度)

など



※需要家件数：ガスを利用しているお客様件数（出典：各社ウェブサイト）

強み ③幅広い顧客チャネル



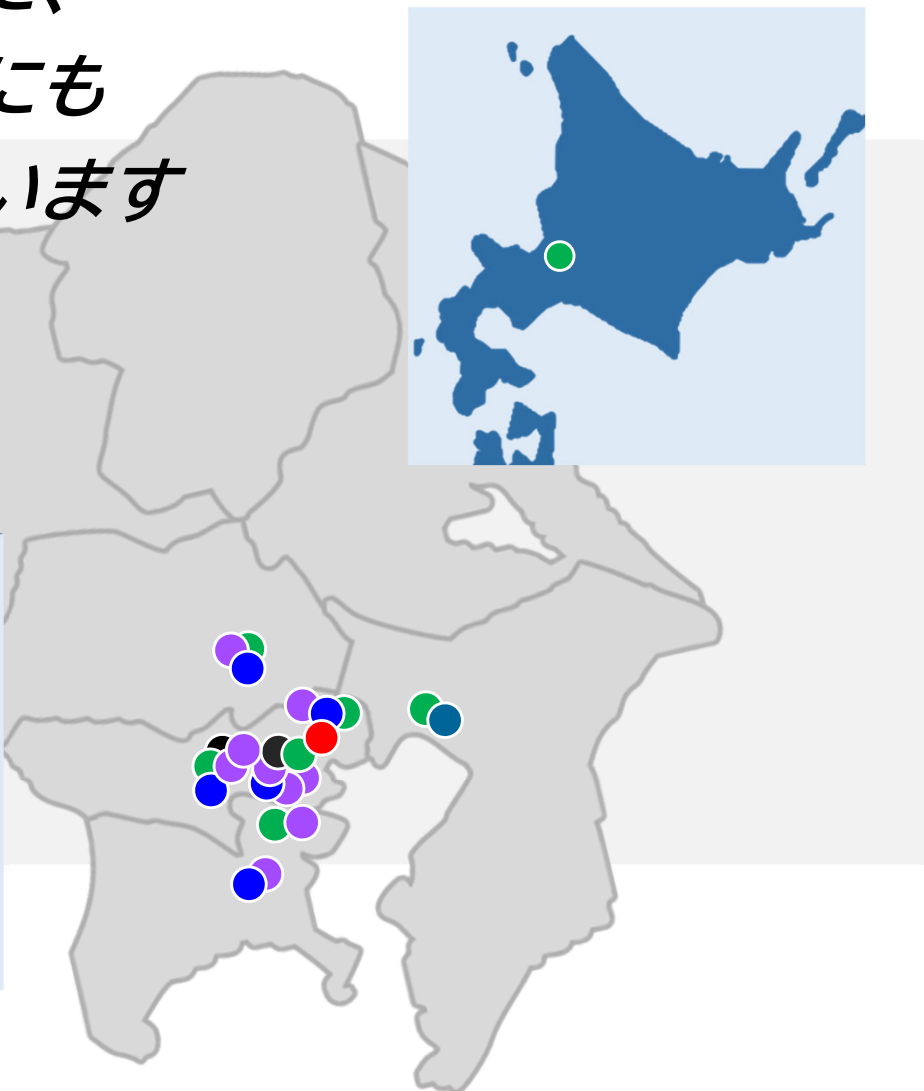
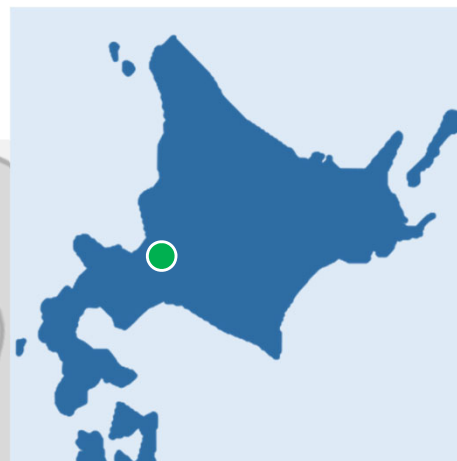
現在の事業所体制

首都圏を中心に、
静岡や北海道にも
拠点を設けています

静岡



北海道



● 本社	1
● 支店	8
● 営業所	9
● 出張所	1
● 事業所	5
● 工材センター ● GHPメンテセンター	2

(2020年7月1日付)

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。